

お知らせ

2027 年度選出「代議員」選挙について（ウェブ投票のお願い）

会 員 各 位

会務部門長 林 高史

本会では、社員総会の構成員として、役員の選任・解任、計算書類の承認など法人の組織、運営に関する基本的事項について議決権を行使することを主務とする代議員を、個人正会員および教育会員の中から選挙により選出しております。

2026 年度選出代議員の任期は 10 月 30 日で終了いたしますので、下記事項をご参照の上、2027 年度代議員選挙の投票を行っていただきたくお願い申し上げます。

記

1. 対象となる投票

9 月 30 日現在ご自身が所属する支部における、2027 年度代議員候補者（立候補者および各支部長から推薦された者）が投票の対象となります。所属支部は、会報（「化学と工業」および「化学と教育」誌）の送付先の都道府県が基準となります。

2. 投票資格のある会員

個人正会員および教育会員。その他に区分される会員の投票は無効となります。

3. 2027 年度代議員の任期

2026 年 10 月 31 日（土）～2027 年 10 月 29 日（金）
（選任の翌年に実施される代議員選挙終了のときまで）

4. 2027 年度代議員の定数および候補者数

所属支部名	定 数	候補者数
北 海 道	6	6
東 北	9	9
関 東	80	80
東 海	17	17
近 畿	42	42
中国・四国	13	13
九 州	11	11
計	178	178

5. 投票期間

2026 年 10 月 1 日（木）～10 月 29 日（木）正午

6. ウェブ投票の方法

投票は、リニューアル前の旧会員システム（旧マイペー

ジ）内の特設ページで行います。

5. の投票期間内に

- ① 会員専用ログインページ（https://mypage.csj.jp/mycsj/index_login.html）または下記 QR コードにアクセス
- ② 「2・個人会員 特典ページ」を選択
- ③ 旧マイページのトップ画面にて、会員番号と旧パスワードでログイン
- ④ 「2027 年度代議員選挙のお知らせ」より画面の手順に従って投票をお願いいたします。



※投票は 1 回限りです。

電話、FAX、郵便、E-mail での投票には応じかねますので、あらかじめご了承ください。

提供された情報は、選出実務の遂行の目的以外の用途に使用することはありません。

〔旧マイページについて〕

旧パスワードをお忘れの方は、旧マイページのトップ画面「▶パスワード再発行」から再発行が可能ですのでご利用下さい。

〔問い合わせ先〕

総務部総務グループ 電話 (03) 3292-6161

E-mail: soumu@chemistry.or.jp

公益社団法人日本化学会 2027 年度代議員候補者

■北海道支部（北海道）

定数：6 名 候補者数：6 名

芥川 智子（北海道立総合研究機構） 神谷 裕一（北海道大学） 松井 雅樹（北海道大学）
飯森 俊文（室蘭工業大学） 菊地 隆司（北海道大学） 村山 徹（北海道大学）

■東北支部（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

定数：9 名 候補者数：9 名

加藤 純雄（秋田大学） 中林 孝和（東北大学） 松本 祐司（東北大学）
栗原 正人（山形大学） 中村 和正（福島大学） 水上 進（東北大学）
竹口 竜弥（岩手大学） 松田 翔風（弘前大学） 三ツ石方也（東北大学）

■関東支部 (茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 山梨県および国外)

定数: 80名 候補者数: 80名

秋元 隆史 (出 光 興 産)
 安達 高広 (三 菱 ガ ス 化 学)
 安藤 吉勇 (東 京 科 学 大 学)
 生駒 忠昭 (新 潟 大 学)
 石井あゆみ (早 稲 田 大 学)
 伊藤 賢一 (日 本 大 学)
 伊藤 智志 (宇 都 宮 大 学)
 伊藤 繁和 (東 京 科 学 大 学)
 伊藤 正照 (東 京 科 学 大 学)
 伊村 芳郎 (東 京 理 科 大 学)
 岩井 智弘 (東 京 大 学)
 岩瀬 顕秀 (明 治 大 学)
 上田 英生 (山梨県立甲府城西高等学校)
 生方 俊 (横 浜 国 立 大 学)
 大坪 主弥 (東 京 理 科 大 学)
 大松 亨介 (慶 應 義 塾 大 学)
 岡村 昌幸 (日 立 製 作 所)
 岡本 敏宏 (東 京 科 学 大 学)
 小椋 章弘 (慶 應 義 塾 大 学)
 柿澤 恭史 (ラ イ オ ン)
 柿沼 孝司 (埼 玉 県 立 不 動 岡 高 校)
 賀澤 勝利 (千 葉 県 立 松 戸 南 高 等 学 校)
 数間恵弥子 (東 京 大 学)
 門田 由美 (レ ソ ナ ッ ク)
 神谷 博 (桐 蔭 学 園 中 等 教 育 学 校)
 亀田 絵理 (群 馬 県 立 館 林 高 等 学 校)
 菊池 孝明 (A D E K A)

沓村 憲樹 (筑 波 大 学)
 工藤 史貴 (神 奈 川 大 学)
 熊澤めぐみ (香 蘭 女 学 校 中 等 科 ・ 高 等 科)
 毛塚 智子 (東 海 大 学)
 小玉 康一 (埼 玉 大 学)
 小安喜一郎 (東 京 大 学)
 境 芳郁 (日 産 化 学)
 貞清 正彰 (東 京 理 科 大 学)
 佐野 泰三 (産 業 技 術 総 合 研 究 所)
 山東 信介 (東 京 大 学)
 白井 智彦 (東 邦 大 学)
 鈴木 智也 (産 業 技 術 総 合 研 究 所)
 須磨岡 淳 (東 京 工 科 大 学)
 高木 美恵 (栃 木 県 立 鹿 沼 高 等 学 校)
 高橋 聡史 (E N E O S マ テ リ ア ル)
 田中 慎二 (産 業 技 術 総 合 研 究 所)
 田中 祐圭 (東 京 科 学 大 学)
 田邊 一仁 (青 山 学 院 大 学)
 寺井 琢也 (東 京 大 学)
 鳥海 尚之 (東 京 大 学)
 中島裕美子 (東 京 科 学 大 学)
 永縄 友規 (産 業 技 術 総 合 研 究 所)
 中野 幸司 (東 京 農 工 大 学)
 永野 修作 (立 教 大 学)
 橋本 卓也 (理 化 学 研 究 所)
 長谷川真土 (北 里 大 学)
 長谷川裕也 (新潟第一中学校・新潟第一高等学校)

秦 猛志 (東 京 科 学 大 学)
 林 宏暢 (物 質 ・ 材 料 研 究 機 構)
 廣木 章博 (量子科学技術研究開発機構)
 富宿 賢一 (明 星 大 学)
 北條 博彦 (東 京 大 学)
 三浦 大樹 (東 京 都 立 大 学)
 三重 正和 (東 京 科 学 大 学)
 三野 孝 (千 葉 大 学)
 宮嶋 尚哉 (山 梨 大 学)
 宮田 康生 (三 菱 ケ ミ カ ル)
 村上 能規 (長 岡 工 業 高 等 専 門 学 校)
 望月 英宏 (富 士 フ イ ル ム)
 森 寛敏 (中 央 大 学)
 森本 祐麻 (東 京 科 学 大 学)
 山口 悟 (茨城県立高萩清高高等学校)
 山口潤一郎 (早 稲 田 大 学)
 山口 峻英 (茨 城 大 学)
 山野井慶徳 (東 京 大 学)
 山平多恵子 (関 東 学 院 大 学)
 山本 一樹 (東 京 理 科 大 学)
 吉川 賢治 (日 本 大 学)
 吉田 将人 (筑 波 大 学)
 吉田 泰志 (千 葉 大 学)
 吉原 利忠 (群 馬 大 学)
 レバン コア (東 京 理 科 大 学)
 鷲野 豪介 (東 京 大 学)

■東海支部 (岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県, 長野県)

定数: 17名 候補者数: 17名

浅尾 直樹 (信 州 大 学)
 安藤 勝 (東 亞 合 成)
 池田 慎一 (名 古 屋 市 立 大 学)
 石井 陽祐 (名 古 屋 工 業 大 学)
 荻原 陽平 (岐 阜 大 学)
 小口 達夫 (豊 橋 技 術 科 学 大 学)

影島 洋介 (信 州 大 学)
 岸 順也 (K H ネ オ ケ ム)
 小林 亮 (名 古 屋 大 学)
 近藤 満 (静 岡 大 学)
 佐藤 俊介 (豊 田 中 央 研 究 所)
 谷 洋介 (名 古 屋 大 学)

鳴海 哲夫 (静 岡 大 学)
 武藤 慶 (名 古 屋 大 学)
 森 大輔 (三 重 大 学)
 山口 深雪 (静 岡 県 立 大 学)
 若林隆太郎 (産 業 技 術 総 合 研 究 所)

■近畿支部 (富山県, 石川県, 福井県, 滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県)

定数: 42名 候補者数: 42名

網代 広治 (奈良先端科学技術大学院大学)
 有吉 欽吾 (大 阪 公 立 大 学)
 井川 善也 (富 山 大 学)
 磯崎 勝弘 (京 都 大 学)
 伊藤 美穂 (三 洋 化 成 工 業)
 岩井 利之 (大 阪 産 業 技 術 研 究 所)
 岩越 光彦 (住 友 化 学)
 梅田 望 (関 西 大 学)
 浦 康之 (奈 良 女 子 大 学)
 大宮 寛久 (京 都 大 学)
 奥野 恒久 (和 歌 山 大 学)
 柿部 剛史 (兵 庫 県 立 大 学)
 笠原 俊二 (神 戸 大 学)
 笠松 良崇 (大 阪 大 学)

片桐 幸輔 (甲 南 大 学)
 北山雄己哉 (大 阪 公 立 大 学)
 越野 省三 (神 戸 国 際 大 学 附 属 高 等 学 校)
 齊藤 尚平 (大 阪 大 学)
 佐伯 昭紀 (大 阪 大 学)
 坂元 知里 (福 井 工 業 高 等 専 門 学 校)
 杉原 伸治 (福 井 大 学)
 関 修平 (京 都 大 学)
 五月女宜裕 (立 命 館 大 学)
 鷹谷 純 (大 阪 大 学)
 田中 大輔 (関 西 学 院 大 学)
 谷口 正輝 (大 阪 大 学)
 劔 隼人 (大 阪 大 学)
 利光 史行 (滋 賀 医 科 大 学)

豊田 和男 (大 阪 公 立 大 学)
 鳥越 尊 (京 都 工 芸 繊 維 大 学)
 西村 俊 (北 陸 先 端 科 学 技 術 大 学 院 大 学)
 畠山 琢次 (京 都 大 学)
 人見 穰 (同 志 社 大 学)
 日野 彰大 (産 業 技 術 総 合 研 究 所)
 舟橋 正浩 (神 戸 大 学)
 前多 肇 (金 沢 大 学)
 松尾 司 (近 畿 大 学)
 満田 祐樹 (大 阪 公 立 大 学)
 村田 理尚 (大 阪 工 業 大 学)
 山口 忠承 (兵 庫 教 育 大 学)
 山本 武司 (京 都 大 学)
 吉田 寿雄 (京 都 大 学)

■中国四国支部 (鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県)

定数: 13名 候補者数: 13名

石元 孝佳 (広 島 大 学)
 井原 栄治 (愛 媛 大 学)
 上野 雅晴 (徳 島 大 学)
 栗原 亮介 (香 川 大 学)
 酒井 誠 (岡 山 理 科 大 学)

櫻井 敏彦 (近 畿 大 学)
 辻 悦司 (鳥 取 大 学)
 西形 孝司 (山 口 大 学)
 西原 禎文 (広 島 大 学)
 西脇 芳典 (高 知 大 学)

三浦 智也 (岡 山 大 学)
 村藤 俊宏 (山 口 大 学)
 山口 勲 (島 根 大 学)

■九州支部（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

定数：11名 候補者数：11名

アルブレヒト建（九州大学）	高良 聡（琉球大学）	林 裕司（旭化成）
江藤真由美（大分大学）	竹村 謙信（産業技術総合研究所）	深港 豪（熊本大学）
岡村 浩昭（鹿児島大学）	内藤 駿一（三井化学）	山本 英治（九州大学）
恩田 健（九州大学）	中戸 晃之（九州工業大学）	

日本化学会秋季事業 第16回 CSJ 化学フェスタ 2026
参加登録のご案内

化学フェスタ実行委員会

- 主催** 日本化学会
- 後援** 文部科学省、国立科学博物館、科学技術振興機構、日本化学工業協会、新化学技術推進協会、産業技術総合研究所、理化学研究所、量子科学技術研究開発機構、物質・材料研究機構、江戸川区
- 会期** 2026年10月20日(火)～22日(木)
- 開催形態** 東京都江戸川区タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）
- 実行委員長** 加藤隆史（信州大学/岡山大学/東京大学名誉）、山田泰司（花王）
- 問合せ先** 日本化学会 企画部 矢部・田中・久後・中谷
E-mail: festa@chemistry.or.jp URL: <https://festa.csj.jp/2026/>

これまで本誌会告欄およびウェブサイトなどで各種ご案内申し上げてきましたが、本号では、会期当日までの参加登録についてご案内いたします。CSJ 化学フェスタ 2026 のプログラムやスケジュールなどは本誌掲載のチラシおよびウェブサイトをご覧ください。皆様、奮ってご参加下さいませようお願いいたします。

参加登録のご案内

CSJ 化学フェスタで実施する企画へ参加される方には、参加登録費の有料/無料に関わらず参加登録をお願いいたします。ウェブサイトよりお申し込み下さい。

なお、学生ポスターの発表者の方は別途登壇料をお支払いいただいているので、参加登録手続きの必要はありません。日本化学会の責によらない天変地異や交通機関の乱れ、事件・事故等によりやむを得ず開催が中止または開催方法の変更があった場合でも、予稿集の発行をもって開催されたものとみなし、参加登録費・ポスター登壇料を返還できない場合があります。あらかじめご承知おき下さい。

1. フェスタ企画への参加の方

1. 申込方法
ウェブサイトよりお申し込み下さい。通常申込期間は2026年10月1日～会期当日です。
2. 参加登録費
フェスタ企画の参加登録費は以下のとおりです。いずれもプログラム集（PDF版）が参加費に含まれます。

会員区分	参加登録費
正会員 ^{*1}	21,000円（税込）
非会員	33,000円（税込）
学生会員	8,000円（税込）
非会員学生	9,000円（税込）
ポスター審査員 ^{*2}	14,000円（税込）

^{*1}…個人正会員・教育会員・シニア会員および法人正会員 企業に所属する方が対象です。

^{*2}…ポスター審査員の方について、審査日に限定して当日開催される企画に無料でご参加いただけます。審査日

以外の日程に参加される場合、参加登録をお願いいたします。

3. お支払い方法

オンラインクレジットカードでのお支払いのみとなります。ウェブサイトよりお申し込み下さい。

2. 公開企画のみへ参加の方

公開企画（「2026 ノーベル賞解説講演」、「公開講座 イグノーベル賞から見る化学」、「コラボレーション企画」）のみへ参加される場合、参加費は無料です。ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。登録完了後に「公開企画 参加申込通知メール」をお送りします。参加方法については、そちらのメールをご確認下さい。

交流会のご案内

10月21日(水)18時15分より、東京都江戸川区タワーホール船堀2階にて交流会を開催します。日本化学会のイベントの中で、最も規模が大きく学生の参加率も高い交流会です。学生さんには企業から提供された豪華景品が当たる企画を用意しております。皆様お問い合わせの上、ぜひご参加下さい。

1. 申込方法
ウェブサイトをご確認下さい。
2. 交流会費
会費は以下のとおりです。

区 分	交流会費
一般（会員・非会員問わず）	3,000円（税込）
学生（会員・非会員問わず）	1,000円（税込）
ポスター登壇者	無料

第 107 春季年会(2027)のお知らせ:各種募集概要

第 107 春季年会実行委員会

第 107 春季年会に向け、講演、出展、広告の募集概要についてご案内します。会員の皆様と現地でお会いできることを楽しみにしております。最新情報は春季年会のウェブサイトにて随時公開していきますので、そちらも併せてご覧下さい。

- 主催** 公益社団法人日本化学会
共催 東京理科大学 野田キャンパス
会期 2027 年 3 月 23 日(火)~26 日(金)
開催方式 東京理科大学 野田キャンパス
実行委員長 郡司 天博(東京理科大学創域理工学部・教授)
重要な日程 講演申込期間 2026 年 11 月 2 日~11 月 26 日
予稿原稿提出期間 2026 年 12 月 3 日~2027 年 1 月 13 日
参加登録期間 (早期申込) 2026 年 11 月 2 日~2027 年 2 月 26 日
(直前申込) 2027 年 3 月 16 日~3 月 26 日
プログラム公開日 2027 年 1 月 21 日(予定)
講演予稿集発行日 2027 年 3 月 9 日(予定)
問合せ先 日本化学会 企画部 年会係
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
URL: <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/csj107th>

会期中にご宿泊を検討される場合は、お早目に宿泊先の手配をお願いいたします。

1 講演申込概要

講演申込の概要は以下の予定です。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の講演申込要項をご覧ください。

[注意事項]

- 理由の如何にかかわらず、講演の申込期間の締切日を過ぎたのちの講演申込および申込内容の変更は一切認めません。
- 申し込みは十分な時間の余裕をもって行って下さい。締切間際の問合せには対応できない状況が想定されます。

1.1 期間

2026 年 11 月 2 日~11 月 26 日

1.2 申込方法

演題登録用サイト(Confit)よりお申込み下さい。

1.3 講演内容と講演者の条件

講演内容は未発表のものに限ります。講演申込は日本化学会の個人会員に限り、1 件までとし、申し込みをした本人が講演を行って下さい。

1.4 形式および講演時間

形式	内容
□頭 A 講演	10 分(講演 7 分・討論 2 分・交代 1 分)
□頭 B 講演	20 分(講演 15 分・討論 4 分・交代 1 分)
ポスター	45 分

1.5 発表言語

英語もしくは日本語とします。プレゼンテーション時に使用するスライドやポスターデータは英語での作成を強く推奨いたします。なお、発表言語に「英語」を選択した場合は、すべて英語で作成して下さい。

1.6 講演申込分類

本年会では次の 23 部門で発表を募集します。申込時には部門および編成仕分け用のカテゴリを選択する必要があります。編成仕分け用のカテゴリについてはウェブサイトにてご確認ください。

01 化学教育・化学史/02 理論化学・情報化学・計算化学/03 物理化学—構造/04 物理化学—物性/05 物理化学—反応/06 分析化学/07 無機化学/08 触媒/09 錯体化学・有機金属化学/10 有機化学—有機金属化合物/11 有機化学—構造有機化学/12 有機化学—有機結晶・超分子化学/13 有機化学—反応機構・光化学・電気化学/14 有機化学—芳香族・複素環・典型元素化合物/15 有機化学—脂肪族・脂環式化合物, 新反応技術/16 天然物化学・ケミカルバイオロジー/17 生体機能関連化学・バイオテクノロジー/18 高分子/19 コロイド・界面化学/20 材料化学—基礎と応用/21 エネルギーとその関連化学, 地球・宇宙化学/22 資源利用化学・環境・グリーンケミストリー/23 CIP ポスター

1.7 各種講演賞

本年会では「学生講演賞」・「イノベーション共創講演賞」を設け、優れた講演を顕彰します。各講演賞の対象者・発表形式・対象部門等は下表のとおりです。講演申込時に審査希望の旨、該当欄にチェックを入れて下さい。イノベーション共創講演賞(詳細)については、本誌 751 ページに産学交流委員会からのご案内がございますのでそちらも併せてご参照下さい。

項目	学生講演賞	イノベーション 共創講演賞
対象者	博士後期課程の学生会員であり、かつ、過去に本賞を受賞していない者	正会員および学生会員で、講演申込時に審査希望を申請した者
発表形式	□頭 B 講演	ポスター
発表言語	英語	日本語 または 英語
対象部門	全部門	部門23：CIPポスター
授与委員会	春季年会実行委員会	産学交流委員会

1.8 発表機材

〔□頭〕すべての会場に Windows PC 1 台および持ち込み PC 用の HDMI ケーブルを準備します。講演者は発表用資料を USB メモリ（ウイルスのチェックおよび OS 互換性に関してチェック済みであること）を持参し、会場 PC に差して発表して下さい。または自身の PC を使用する場合には HDMI ケーブルを接続して発表して下さい。会場 PC の OS 等詳細は春季年会ウェブサイトに掲載します。

〔ポスター〕ポスターボード（縦 210 cm×横 90 cm 予定）と画鋏を用意します。ポスターセッションの時間は 90 分（ポスター番号により前半 45 分、後半 45 分が発表時間となります。）です。セッション前後の指定時間に貼り付け、剥がして下さい。

2 講演予稿原稿

2.1 提出期間

2026 年 12 月 3 日～2027 年 1 月 13 日

※提出期間の最終日を過ぎた時点で予稿原稿が未提出の場合、講演申込を中止したものとみなします。

2.2 作成方法

春季年会ウェブサイト上の予稿原稿作成要項にそって PDF ファイルで作成して下さい。春季年会ウェブサイトにおいてテンプレート（雛型）を配布しています。

2.3 表記言語

英語版および日本語／英語併記版のテンプレートを用意しています。発表言語が英語の場合には英語版での作成を推奨します。なお、日本語のみでの作成はお控え下さい。

3 講演予稿集

3.1 発行日

2027 年 3 月 9 日（予定）

3.2 発行形式

形式	内容
Web	参加登録した方が春季年会ウェブサイトにて閲覧およびダウンロード可能です。なお、会期が終了して 3 ヶ月ののち、年会参加者以外による閲覧を可能とします。

4 参加登録概要

参加登録の概要は以下の予定です。講演申込者・講演者（登壇者）・連名者（共著者）の如何にかかわらず本年会に

参加される方は、**全員参加登録が必要です**（※一部招待者を除きます）。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の参加申込要項をご覧ください。

4.1 期間

（早期参加申込）2026 年 11 月 2 日～2027 年 2 月 26 日

（直前参加申込）2027 年 3 月 16 日～3 月 26 日

4.2 登録方法

参加登録用サイト（Confit）よりお申し込みの上、期日内に参加登録費をお支払い下さい。※中高生会員の直前申込は会期当日、会場にて受け付けいたします。

4.3 参加登録費

参加登録費および支払い方法は下表のとおりです。

参加区分		参加登録費 (早期申込)	参加登録費 (直前申込)	課税区分
会 員	一般*1	18,000	21,000	不課税 ※税の適用 の対象外
	シニア/教育*2	10,000	12,000	
	学生*3	5,000	6,000	
	中高生(聴講のみ)	無料	無料 会場にて受付	
非 会 員	一般	30,000	35,000	課税 ※左記の金額は税込
	学生	7,000	8,000	

*1 個人正会員および、法人正会員に登録している機関に所属の方。

*2 シニア会員、永年会員、終身会員、教育会員の方

*3 学生会員、教育学生会員、ジュニア会員、中高生会員（登壇）の方

4.4 支払い方法

支払い方法は下表のとおりです。支払い完了後、参加登録用サイト（Confit）内にて領収書を発行します。領収書の発行は PDF 形式のみです。なお、請求書の発行はありません。

参加申込時期	支払い方法
早期参加申込	銀行振込、クレジットカード払い
直前参加申込	クレジットカード払い

5 付設展示会出展募集概要

詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

5.1 概要

会期 2027 年 3 月 23 日～25 日（3 日間）

会場 東京理科大学 野田キャンパス 森戸記念体育館

出展の対象

汎用科学機器・装置／汎用器具・消耗品／分析機器・装置／物理量・物理測定装置／試験機器・装置／実験室設備／試薬類／情報処理技術／書籍／環境関連機器・装置／インターネット関連／安全性試験受託・分析リサーチ／耐震・防災・保護・避難／PRTR 対策技術／コンピューターケミストリー関連ソフト／コンビナトリアルケミストリー／ナノテクノロジー関連／バイオテクノロジー関連／大学 TLO・知財本部／特許事務所 等

5.2 お問い合わせ先

(株)化学工業日報社 企画局 担当：松枝
電話 (03) 3663-7936 FAX (03) 3663-7861
E-mail: sympo@chemicaldaily.co.jp

6 広告募集概要

下記内容にて春季年会の広告を募集します。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

6.1 募集広告一覧

媒体名	掲載場所等
①ウェブサイト・バナー	第107春季年会ウェブサイトのバナー広告掲載。申込随時掲載予定。
②メールテキスト広告	第107春季年会参加者への配信メール内にテキスト広告を掲載。
③ポスターボード広告	ポスター・付設展示会場にポスターを掲載。
④モバイルアプリ・バナー	第107春季年会モバイルアプリにバナー広告を掲載。
⑤ネックストラップ広告	貴社ロゴ入りネックストラップを第107春季年会会場内で配布。

6.2 お問い合わせ先

①ウェブサイト・バナー, ②メールテキスト広告, ③ポスターボード広告, ④モバイルアプリ・バナー
(株)化学工業日報社 企画局 担当：松枝
電話 (03) 3663-7936 FAX (03) 3663-7861
E-mail: sympo@chemicaldaily.co.jp
⑤ウェブサイト・バナー, ④モバイルアプリ・バナー, ⑤ネックストラップ広告
(株)明報社 担当：後藤
電話 (03) 3546-1337 FAX (03) 3546-6306
E-mail: goto@meihosha.co.jp

7 ランチョンセミナー募集要項

詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

7.1 開催日時

2027年3月23日～26日 12:00～12:45

7.2 募集枠

上記日程の各日2枠 ※各社会期を通じて1枠のみ

7.3 料金

300,000円(消費税別)

7.4 お問い合わせ先

(株)明報社 担当：後藤
電話 (03) 3546-1337 FAX (03) 3546-6306
E-mail: goto@meihosha.co.jp

第107春季年会(2027)「イノベーション共創講演賞」 “Co-Innovation Presentation Award 2027”のご案内

産学交流委員会 委員長 住田康隆

日本化学会産学交流委員会では、2008年度より優れた講演に対する表彰を行っています。来る2027年3月23日(火)～26日(金)、東京理科大学 野田キャンパスにて開催される標記年会において、下記要領により審査・選考を行い、優れたポスター講演者に「イノベーション共創講演賞」を授与します。

審査対象となる「CIP ポスター ～社会を変えるイノベーション～」では、明確な応用を目指した研究はもちろん、応用展開の可能性を探索する段階にある基礎研究の講演も広く募集します。審査は主に企業の審査委員が担当し、発表者とのディスカッションを通して産業界からの視点で評価します。また、審査を通じて産業界の研究技術者から直接アドバイスを受けることができる貴重な機会でもあります。産学官の研究者および学生の皆様からの多数のポスター発表を期待しております。ぜひ奮ってご応募下さい。

選考対象者：

正会員および学生会員のうち、講演申込時に審査を希望した者。過去の受賞者については、研究内容が大きく異なる場合、あるいは研究開発ステージが上がるなど研究の進展が顕著な場合に限り、選考対象とします。

審査対象：

アカデミックプログラム部門 23. CIP ポスター

審査分野：

下記 P1～P5 の5つの産業適用分野を審査分野とします。講演申込時に審査分野を明記して、審査の希望について申請して下さい。

P1. エネルギー (例：太陽電池、燃料電池、蓄電池、水素エネルギー、熱電素子、省エネルギープロセス、等)

P2. 資源・環境・GSC (Green Sustainable Chemistry) (例：カーボンニュートラル、元素戦略、人工光合成、CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)、水処理、リサイクル、マイクロプラスチック対策、バイオマス利用、生分解性材料、等)

- P3. 新素材・材料・反応（例：自動車素材，航空用素材，建築素材，構造材，包装材，繊維，エレクトロニクス材料，光学材料，ナノ材料，量子材料，触媒，化学プロセス，新規合成法，表面・界面技術，等）
- P4. 化学のための DX（例：マテリアルインフォマティクス，化学シミュレーション，量子化学計算，ビッグデータ活用，AI 活用，自動実験，等）
- P5. 医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー（例：医薬品リード・シード（低分子，中分子，バイオ医薬品，ペプチド医薬，核酸医薬，ドラッグデリバリーシステム等），診断薬，AI 創薬技術，ゲノム編集技術，細胞医療，人工臓器，再生医療，医療材料，生体機能計測技術，デジタルヘルス，バイオものづくり，農薬，肥料，代替食品，機能性食品，健康食品，香粧品，等）

発表言語：

日本語または英語

選考方法：

産学交流委員会関連の企業委員および日本化学会フェロー等のほか，委員より推薦され委嘱された企業審査委員が，選考基準に基づいて審査を行います。会期終了後に，CIP 企画小委員会では候補者の選考を行い，産学交流委員会の審議を経て受賞者を決定します。

選考基準：

産業への貢献が期待される基礎的または応用的な概念，アイデア，実験手法，実験結果などについての発表を対象とします。また，講演者の研究に対する主体性や貢献度が高く，かつ今後の研究活動の一層の発展が期待される発表を選考します。

授与件数：

おおむね 20 件につき 1 件の割合で授与します。

賞状の授与：

受賞者には，日本化学会から賞状を授与します。また，「化学と工業」誌に受賞者の氏名，所属，演題を掲載します。

第 21 回 PCCP Prize 受賞候補者の募集について

日本化学会運営会議

Royal Society of Chemistry (RSC；英国王立化学会) が発行する学術誌 PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) ならびに Faraday Discussion では“PCCP Prize”を設けており，RSC の協力依頼に応じ本会理事会承認の下，2007 年から毎年，数名の受賞候補者の公募を行っております。受賞者は第 107 春季年会会期中の表彰式（会期 2 日目）にて表彰いたします。本年度も受賞候補者を募集いたしますので，奮ってご応募，ご推薦願います。なお，本賞の選考対象・応募資格・応募方法などは下記のとおりです。

■名称：

PCCP Prize

■授賞機関：

Royal Society of Chemistry

PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) and Faraday Discussion

■選考対象・選考基準：

本会会員（ディビジョン登録者）で，物理化学，光化学，理論化学，無機化学，錯体化学・有機金属化学，高分子化学，触媒化学，分析化学，電気化学，コロイド・界面化学，ナノテク・材料，など PCCP がカバーする領域で傑出した研究成果があり，将来の活躍が期待される若手研究者（受賞年 2027 年 4 月 1 日時点で満 35 歳未満の方）で，かつその成果の一部を自身が日本化学会第 107 春季年会で発表する者（口頭 B 講演および各種受賞・招待講演；口頭 A・ポスター講演は除外）。なお，日本化学会進歩賞との同時受賞はできません。

■応募・選考方法：**※応募（自薦，他薦）：**

本会ウェブサイトから①所定の用紙をダウンロードし，所定事項を記入の上，②論文リストおよび③最近（なるべく過去 3 年以内）掲載された論文別刷り 1 報（※PDF などの電子版が望ましい），を添付の上，登録ディビジョン宛てにお申し込み下さい。

※ディビジョン推薦：

ディビジョン主査は，当該ディビジョンに応募のあった候補者が複数名の場合には順位をつけた上で，受領した応募書類のすべてを日本化学会内「PCCP Prize 選考委員会」宛てに転送し推薦を行う。「PCCP Prize 選考委員会」はディビジョン主査から推薦のあった候補者の業績内容を審議し，3 名程度の受賞者を選定する。受賞候補者は日本化学会理事会に報告し，承認を得る。

■応募資格（附則事項）：

なお、出産、育児、介護等により、合計3ヵ月以上の間研究を中断した者（性別を問わない）については、個別の事情に応じ、1〜2年程度、上記の年齢要件について配慮することとします。

（補足）PCCP Prize 選考に関するライフイベントを考慮した年齢要件緩和の方針について第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）で、「我が国における潜在的な知の担い手を増やしていく」との認識の下、「男性・女性研究者双方が育児・介護と研究を両立するための環境整備やサポート制度等の充実を進める」とあります。こうした政府の方針や、PCCP Prize 顕彰事業に対する研究者からの要望等を踏まえ、出産育児、介護、病氣療養、その他災害などの理由により、一定の間、研究を中断した者については、性別を問わず、年齢要件に一定の配慮を行うこととし、年齢要件を読み替えることを想定します。なお選考委員会では、研究中断の個別の事情を踏まえ総合的に判断することとします。研究活動の中断期間およびその事由は自主申告（自由書式）とし、まずは下記問合せ先へE-mailにてご連絡願います。ただし選考委員会から追加説明や証憑の提出を依頼する場合があります。

■授賞の内容：

PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) から賞状 (PCCP Prize Certificate for Outstanding Achievement of Young Scientists in Physical Chemistry and Chemical Physics) を授与。第107春季年会会期中の表彰式（会期2日目）にて表彰いたします。

賞状、賞金および副賞が贈呈されます。また後日、会誌「化学と工業」および本会ウェブサイトならびにRSCサイトにおいて受賞者氏名、所属、受賞題名を公表されるとともに、RSCジャーナルへの論文投稿の依頼がございます。

■授賞件数：

3件程度。

■書類の提出締切および選考日程：

※当該ディビジョン主査宛て応募の締切日：2026年12月16日（水）（必着）

ディビジョン主査/幹事名は本会ウェブサイトをご覧ください（申込み先ディビジョンのE-mailアドレスがおわかりにならない場合には、下記連絡先までご照会下さい）。また、ご提出の際には、本会にもなるべく写し（cc）をお送り下さい。

※ディビジョン主査から日本化学会内「PCCP Prize 選考委員会」宛て提出締切日：2027年1月7日（木）

※「PCCP Prize 選考委員会」：2027年2月上旬までに受賞候補者を選考予定。受賞者として選出された方には2月中旬頃に内定の連絡をいたします。

■問合せ先：

公益社団法人日本化学会 事務局 企画部 PCCP Prize 係

〒101-8307 千代田区神田駿河台1-5 E-mail: pccp@chemistry.or.jp

URL: <https://www.chemistry.or.jp/activity/international/PCCP/pccp-boshu2027.html>

訃 報

日本化学会会長 森川宏平

「日本化学会名誉会員」として本会の発展にご貢献いただいたノーベル化学賞受賞者の白川英樹氏の訃報に接しました。本会はこちらに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈りいたします。

会員委員会からのお知らせ**〔日本化学会への入会勧誘のお願い〕**

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら、積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

〔会員訃報のお知らせ：2026/6/16-2026/7/15〕

6名の方の訃報に接しました。本会はこちらに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈りいたします。

植村 允勝 黒井 祝郎 荘司 準 中谷 清 宮原 正樹 山本 達夫

化学だいすきクラブ事業募金者ご芳名

(令和8年7月16日~8月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○30,000 円 藤原 克彦
○10,000 円 杉原多公通
○5,000 円まで 田中 昇次

「化学振興」活動募金者ご芳名

(令和8年7月16日~8月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○5,000 円まで 田中 昇次

「化学と教育」誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

1. 目次紹介 (第74巻第10号)

ヘッドライン：化学を活かせる医療職

その他に、【実験の広場】、【新・講座】など。

※内容は変更になる場合があります。

2. 購読方法

【個人】

- 1) 日本化学会会員の方で、「化学と教育」誌を追加購読ご希望の場合は5,400円(年額)をお支払いいただくことで購読いただけます。追加購読をご希望の場合には【お問合わせフォーム】からお申込み下さい。

【お問合わせフォーム】

<https://form.csj.jp/view.php?id=158655>

フォーム入力方法 (ご参考)

- ①【お問い合わせ内容の種類 - Subjects】：「全般について」を選択
②【お問い合わせ内容詳細 (全般) - Sub-subjects】：「【会誌】会誌の追加購読申込」を選択

- ③【追加購読誌 - Journal Subscriptions】：「化学と教育」をチェック

*以降は必須事項をご入力下さい。

- 2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は、教育会員(年間会費9,000円)として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が4,800円です。入会申込は、当会ウェブサイトの「日本化学会への入会案内」(<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>)から行って下さい。

【団体】

学校、図書館、官公庁等、団体として購読することもできます。公共会員(年間9,000円)に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。請求先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

日本化学会総務部会員 G

電話(03)3292-6169 ※AIにてご用件を承ります。

E-mail: member-support@chemistry.or.jp